

(別紙様式)

令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	北部農林高等学校定時制課程
記載者名	定時制教頭 徳永 公男

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	11	0	0	14

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	1				6

※その他 (北部農林高校後援会)

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	3	24	0				27

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input checked="" type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input type="checkbox"/> ④その他()
学校関係者評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input checked="" type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input type="checkbox"/> ④その他()

5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①キャリア教育の充実(就労体験、職場見学、卒業生講話等)。
②遠足やナイトウォーク、農業祭など、生徒の自己肯定感を醸成するような行事の実施。
③校内を巡視し、危険箇所や老朽化した設備や器具等を早期発見及び更新。
④教育相談、SC、支援員を活用した、生徒が気軽に相談できる体制づくり。
⑤資格取得に各教科(ワープロ検定、溶接、クレーン、漢字検定等)での取り組み。

6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

①生徒の安全を確保し、安心して学習を行うことができる施設や設備の整備。
②生徒が自分の将来を見通し、具体的な夢や希望を持てるようなキャリア教育の充実。
③あいさつや身なり、言葉遣いなどルールやマナーを守り、規範意識を育成すること。
④北農定時制の生徒として、自己肯定感を醸成すること。
⑤北農定時制の体制の検討(教育課程、職員数等)。

7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

①全日制や事務部、農場部と連携して、学校施設や設備の更新や修繕。
②資格取得の奨励、キャリア教育の強化(就労体験、進路講話等)。
③生徒の実態に合った、北農定時制のルール制定及び生徒への周知。
④生徒が主体となって活動する、特別活動や体験的行事の実施(例:北農夜市、夜遠足)。
⑤教育課程、時間割、広報活動等、定時制としての体制の見直し。